

「漢字に思いをこめて」

出典：光村図書「どうとく3 きみが いちばん ひかるとき」

愛知県刈谷市立富士松南小学校
教諭
なかの しんご
中野真悟



学年 3年 内容項目 C (14) 家族愛、家庭生活の充実

ねらい 家族に対する思いを振り返り、家族の一員として家庭生活をよりよくしようとする意欲を高める。

わたしの授業、ポイントはココ

この授業は3学期に実施しました。児童が自分事として納得できる考えを導くことができるよう、指導過程を工夫しました。

3年生は、家族に何かをしてもらうのがあたりまえで、家族のことをあまり考えていない児童もいます。そこで、まずは教材の作例を読んで漢字一字を考えさせ、これまで考えてこなかった家族への思いを、主体的に振り返るようにしました。ただ、それでも児童は、家族の一人に限定的な思いをもつだけかもしれません。そこで、グループやクラスで友達の思いを共有しました。さまざまな家族に対する思いが発表さ

れ、考えが広がりました。

この内容項目では、家族で協力して楽しい家庭をつくることについて考えさせていきます。中心的な発問として「家族と笑顔で生活するために大切なことは何か」を問い、クラスのみんなが考える「大切なこと」を共有し合いました。その後、これまでに考えてきたことを自分事として捉えながら、自分がこれからしたいことを考えられるようにしました。本時の学びを自分につなげることで、児童は、家族への感謝や、自分勝手な行動を律することの大切さについて、深く考えたようです。

中野先生の授業、ココに注目！

効果的な学習活動によって、広がりや深まりのある授業になっています。まず、児童は家族の一人を念頭に、自分の思いを表すのに最適な漢字を一字選択します。この活動で、児童は自分と家族の関わりを改めて思い起こし、感謝の念や信頼、愛着を強めています。また、家族の形態や実生活が違えば、関わり方も抱く思いもさまざまです。友達と交流し、それらにふれることで、家族の概念が広がり、家族と自分の関わり方を多様な視点で見つめ直すことができ、今後の自分の在り方にも気づくことができます。

元東京都練馬区立光和小学校 統括校長
あさくら ゆみこ
朝倉喩美子

教材の内容(あらすじ) 「家族への思いを漢字一字に込めるとしたら、あなたは、どの漢字に、どんな気持ちを込めて伝えたいと思いますか？」教科書に掲載されている子どもたちの作例を参考に、自分でも家族を思い浮かべて漢字一字を選び、そこに込めた思いを表す活動を行う。

1

冬休みの家庭生活について振り返る

発問 冬休みは、家族とゆっくり過ごせましたか。

- 過ごせた。
- あまり過ごせなかった。
- ゲームをしすぎてしかられた。

冬休みの生活を振り返り、家族との関わりに意識を向けることで、家族について考える本時の教材につなげた。

2

教材を読み、家族への思いを表す漢字について考える

発問 家族への思いを、漢字一字に込めて書きましょう。

▶「誰に対して」「どんな漢字に」「どんな思いを込めたのか」を考えて書きましょう。

発問 家族への思いを込めた漢字を発表しましょう。

- お父さん 「買」→いろいろなものを買ってくれてありがとう。
- お姉ちゃん 「姉」→自慢のお姉ちゃんです。
- お兄ちゃん 「遊」→また遊ぼうね。
- お母さん 「名」→名前をつけてくれてありがとう。
- お母さん 「心」→お母さんのおかげで思いやりがもてるようになったよ。
- 妹 「好」→大好きだよ。

家族の誰へのどんな思いかを想起できるよう声をかけ、家族との関わりを主体的に振り返って考えさせた。

グループで自分の考えを発表させた後、クラスでも意見を出し合うことで、家族に対するさまざまな思いがあることを、全体で共有した。

家庭生活の充実について、クラス全体で話し合う

中心的な発問 家族と笑顔で生活するために、大切なのはどんなことでしょう。

- 悪口を言ったり、無視をしたりしない。
- 家族が困っていたら助ける。
- 家族といっしょに映画に行く。▶それは家族にとって、どういうところなのかな？
- 家族といっしょに、絆が深まるところに行く。
- マッサージをしてあげる。
- 楽しくいっしょに遊ぶ。
- お手伝いをする。

導入で振り返った家族との関わりと関連させながら、毎日、家族と笑顔で生活するために大切なことを尋ね、家族の一員として家庭生活をよりよくするには、具体的にどうすればよいのかを考えさせた。

児童の意見に問い返しをすることで、意見に込められた意味を深めていった。

3

本時の振り返りとして、ここまで考えたことを自分事として捉え直す

発問 家族と笑顔で生活するために、あなたは、どんなことをしたいですか。ワークシートに書きましょう。

- 自分からお手伝いをして、親子げんかをしないようにしたい。
- 兄弟げんかをやめれば、お父さんもお母さんも笑顔になると思う。
- 家事をしてもらったら「ありがとう」「手伝おうか？」と言って、お母さんを助けたいと思う。
- 気持ちがモヤモヤするから、悪いことを言ったらすぐに謝る。

発問 今日の授業を通して学んだことを、自分がこれまで思っていたことや、体験したことと比べながら書きましょう。

- 今までは、遊んでもらうのがあたりまえみたいに思っていたけど、遊んでもらうのがとても幸せと感じた。
- 家族とけんかになると、つい悪口を言ってしまうことがあるので、気をつけたい。言ってしまうと、心が傷つくから。
- お父さんやお母さんに「ありがとう」や感謝の気持ちを伝えたことがなかったので、それを言いたい。

家族への思いを込めた漢字や、クラス全体で考えた「家族と笑顔で生活するために大切なこと」を基にして、「自分はどんなことをしたいか」を考えさせ、自分事として納得できるようにした。

家族に関するプライバシーを守るため、全体の前では発表させず、自己内対話をしながらワークシートに書かせた。